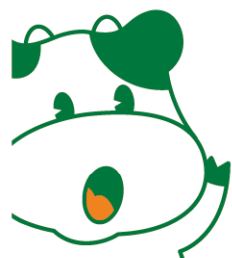


生協らしい「安心・安全」な お葬式を！



パルシステム 埼玉のお葬式
pal*system

プリユ葬

変化した

「新しい葬儀のカタチ」を プリユ葬は応援します！



- コロナで変わった「お葬式」の考え方 -

通夜や告別式を行わず、直接火葬場で茶毘に付すことを「直葬」と言います。コロナをきっかけに、この「直葬」が都市部を中心に大幅に増えました。コロナ禍においては、お葬式をしたくても出来ないのですから至極当たり前のことです。同時に、「遠方の親戚の参列はご遠慮いただく」「会食は行なわない」ことで、「お通夜」が省略された「一日葬」という「新たな葬儀スタイル」が確立されたのです。コロナ前の葬儀は、平均 184 万円（2020 年の第 4 回お葬式に関する全国調査結果）が費やされ、多い時は 100 人以上の人が参列するという一大行事だった葬儀が、「少人数でもあたたかく送る」事を目的の葬儀に変化したのです。遺族にとってストレス極まりなかった葬儀というセレモニーが、遺族のためにも価値ある「新しい葬儀のカタチ」に変化したことは時代の趨勢でもあります。「プリユ葬」は、この「新しい葬儀のカタチ」を支持し応援いたします。世の多くの葬儀社も「直葬」や「一日葬」の広告を打っていますが、実際のところ「過少広告」が多くみられ、とてもその金額ではできないのに葬儀になると追加の料金が必ず必要になるという手口が横行しているそうです。例えば「直葬」の費用相場は約 20 ～ 30 万円なのに「10 万円以下で直葬が出来る」と謳う業者もありますが「本来必要なのに含まれていない費用」が多くあり、追加料金を提示されることになるのです。

パルシステム埼玉のお葬式「プリユ葬」なら、こんな事を心配せずに「安心して」利用できます。

また、「直葬」や「一日葬」も良い面ばかりではありません。デメリットとしては、参列者の選別が悩ましいことや、葬儀後に訃報を送ったり参列できなかった方の弔問対応をしたりと、やらなければいけないことが増えてしまうことです。

大切な方との最後のお別れを、ご家族ご友人と一緒に安心して過ごしていただくためにも、また、現実的な事で申し訳ないのですが、病院や施設でお亡くなりになった場合、ゆるされるご遺体の安置は数時間です。その間に、病院から【葬儀社への手配（ご遺体のお迎え）】を要求されます。たった数時間で何が決められるでしょうか？ 後々後悔しないためにも「事前相談」はとても大切です。

ぜひ、「プリユ葬」の資料をご請求いただき「事前相談」をご活用ください。「プリユ葬」は、パルシステム埼玉（生協）のお葬式です。ご相談されても、「個人情報」を流用したり「しつこい営業」は一切ございません。

※お近くの「プリユ葬直営ホール」やご自宅や施設などへお伺いしての事前相談も可能です。まずは、「プリユ葬受付センター」にご相談ください。

資料請求・ご相談は、裏面をご覧ください。➡

「プリユ葬」誕生物語

●「プリユ葬」には、組合員に愛された 26 年の歴史と実績があります。

パルシステム埼玉では、生活協同組合が取り組むべき事業として、「プリユ葬」を展開しています。「プリユ葬」は 1998 年にスタートしました。もとより、生協には社会福祉の視点から組合員のくらしを見据えた「ゆりかごから墓場まで」という理念があり、当時の理事や職員の間で、生協の事業として葬祭事業に取り組むべきとの議論が交わされました。

そして、組合員の暮らし課題解決のひとつとして、生協だからこそできる「価格の透明化」「情報の発信」に取り組み、ブラックボックスなお葬式を「見える化」して、組合員の利益を考えた独自の葬祭サービスの事業化に取り組むことを決めたのです。

その事業は「プリユ葬」と名付けられ、生協オリジナル仕様の葬祭事業をスタートさせることとなります。

